



谷本 勝俊 議員

### 経済的弱者をどう救済していくか

#### 問

- ① 買物弱者の現状と課題は。
- ② デマンドタクシーの実績は。
- ③ ガソリンスタンド過疎地の現状と課題は。
- ④ 防災の観点から、灯油購入が困難な場合の対応策は。

#### 答

中村市長

① 自家用車等の移動手段を持たない高齢者を中心に深刻な問題になってきている。今後は、地域が存在していく上での重要課題として、住民が主体的に現状把握、対応方策

の検討に取り組んでいた  
だき、行政としても共同  
宅配や移動販売車等の情  
報収集及び提供に努めた  
い。

- ② 生活交通手段を提供する点からも一定の効果があつたと認識しているが、運行時間や台数等の制約があつて買物弱者対策としては対応に限界がある。
- ③ 原油価格高騰による利用の低迷、消防法の改正に伴う地下タンク更新等の問題から、より一層維持継続が難しくなっているものと予想される。地域と行政が情報共有を図りながらスーパーや食料品店の問題も含め、包括的な協議検討を進めたい。

#### 答

防災安全課

④ J A えひめ中央との間で避難所への食料品、日用品等の供給、ガソリン、灯油等の供給も含まれているので、災害時の避難民への対応等、可能なことになっている。

### 伊豫国「あじの郷」づくりの進行状況は

#### 問

- ① 山梨県北杜市との取り組み状況と今後の取り組みは。
- ② あじの郷五勇士「ゆるキャラ」の活動状況は。
- ③ あじの郷五勇士を名刺などで本市をPRしては。

#### 答

総務部長

- ① 地域間の物産交流などの取り組みが始まっている。現在は特産の柑橘類、キウイ、びわ、煮干し、削り節、醤油などの加工品が大変好評で、売上げ拡大が図られているので、今後も継続していきたい。
- ② 市内外のさまざまなイベントに出演し、伊予市とあじの郷づくり事業のPRに役立っている。活躍の様子はホームページ上のミカンまるブログで随時紹介をしている。
- ③ 既に多くの職員が名刺にキャラクターを印刷し、

PRに一役買ってくれている。



### 住宅火災報知器の完全設置を目指して

#### 問

- ① 現状の設置率と課題の認識は。
- ② 完全設置を目指すための啓発や方策は。
- ③ 消防団員や婦人防火クラブの啓発制度活用への考えは。

#### 答

総務部長

① 本市の住宅用火災警報器の設置率は51・7%で

ある。今後、設置の伸び悩みが予想されることから一層の設置向上に向けた取り組みを強力に推進していく。

- ② 消防本部、消防団、自主防災組織、行政機関で構成する伊予地区住宅用火災警報器設置対策連絡会を発足する予定である。この連絡会の中で普及に最も有効と考えられる警報器の共同購入、取り付け及びサポート体制の整備など、設置率100%を目指して取り組んでいく。
- ③ 本市では地域コミュニティが一体となった活動が最も効果的と考えられ、連絡会による地域一体の取り組みを通じて普及活動に力を注いでいく。

### その他の質問事項

- ・交通安全の啓発について
- ・放置竹林の再生に向けて